

十和田小学校 6年2組 算数 テレビ授業指導案

平成 17 年 7 月 11 日

3 校時 10 : 40 ~ 11 : 25

6 年 2 組児童 34 名

授業者 T1 : 浅水 英夫

T2 : 成田 勇信

1. 単元名 速さの表し方

2. 単元の目標

異種の二量の割合としてとらえる数量について，その比べ方や表し方を理解し，それをを用いることができる。

単位量あたりの考え方をを用いると，数値化して比較できることよさに気付き，生活に生かそうとする。(関心・意欲・態度)

異種の二量について，割合の考えを用いて表し方や比べ方を考える。(数学的な考え方)

単位量あたりの考えを用いて，混み具合や速さを比較することができる。(表現・処理)

異種の二量の割合の意味とその求め方を理解する。(知識・理解)

3. 本時のねらい (9 / 10)

・「速さ」,「道のり」,「時間」を求める公式を使って，それぞれの問題を解くことができる。

4. 本時の学習過程

学習活動	時間	テレビ授業に関する留意点
1. 本時の学習の進め方を聞き，課題選択学習をすることを知る。	5	・はじめに，松田先生を紹介し，一つのコーナーを担当してくださることを伝える。
2. 「速さ」,「道のり」,「時間」を求める3つの基本問題を解く。 ・ 解き終わったら T1, T2 から をもらう。 ・ 間違えた時はやり直してくる。そして，なぜ間違えたのかを必ず説明させるようにする。	10	・ 間違い直しをした子どもの説明を聞いて助言などをしてほしい。
3. 「速さ」,「道のり」,「時間」を求める3つのコーナーを選択し，問題を解く。 ・ 各コーナーに問題を3問用意しておく。 ・ 解き方がよく分からない児童は，T1, T2, ヒントマンに聞きにいくように説明しておく。	18	・ T1 は「速さ」と「時間」, T2 は「道のり」のコーナーを担当する。 ・ 松田先生には，チャレンジコーナーに進む子どもが現れるまでは「ヒントマン」になっていただきたい。
4. みんなで，チャレンジコーナーに挑戦する。	7	・ 松田先生にチャレンジコーナーを担当していただき，1問用意していただきたい。
5. 本時の学習について自己評価する。	5	・ 今日の学習が，どういう場面で役に立つのかや今後の算数の学習への取り組みについて励ましの言葉をいただきたい。